

学校教育目標(具体目標)

- 一、敬愛の心があつく心情豊かな生徒
- 一、よく考え主体的に行動できる生徒
- 一、体力・気力の充実した健康な生徒



第10号

R6.2.7発行

発行者

校長 鈴木佳之



## 2年 志を新たに

1/25に「立志式」を行いました。立志とは、「志を立てること。将来の目的を定めて、これを成し遂げようとする事」です。立志式は、日本古来の成人式でもある「元服の儀」にちなんだもので、15歳になる年の立春に行われている行事です。あと1年で自分の道を選択していくことを見据え、将来の決意や目標などを明らかにし、大人になる自覚を深めたり、誓いを立てたりする機会としています。



▲一人一人「立志の誓い」を発表しました



最後に全員がステージに立ち、Mrs. GREEN APPLEの「僕のこと」を歌いました。失敗も含め、それまでのことを全部肯定して生きようという人生賛歌です。

令和5年度  
立志式



ああなんて素敵な日だ  
幸せと思える今日も  
夢破れくじける今日も  
ああ諦めずもがいている  
狭い広い世界で奇跡を唄う

冬に咲く花に命が芽吹くよ  
駆けるは雪の大地  
青すぎた春を  
忘れずに居たいと  
語るは友との地図  
駆けるは人の旅路

## 2/2 立志スキー教室

2/2(金)、2年生がエーデルワイススキー場にてスキー教室を実施しました。

午後になって、凍てつくような風と雪が吹きすさぶ大自然の中、生徒たちは思いっきりスキーを楽しみました。



初心者が多くを占めましたが、緩斜面での滑走はマスターし、思い思いのシュプールを描いていました。



## 長い間ありがとう



本校創立期から、毎年春の訪れを告げ、新年度のスタートを見守ってくれていた2本の桜。「ソメイヨシノ」の寿命は60~70年といわれるとおり、近年の強風で枝が折れるなど、老木の症状が顕著になり、いよいよ倒木の危険性が高まったことから、1/20に伐採されました。

期末テストから

## デジタル採点を試験運用します。

「デジタル採点」とは、テストの記述式解答用紙をスキャンして画像化し、PC画面上で効率よく採点する仕組みのこと

### 【期待される効果】

- 教育効果＝学力分析⇒学力向上策⇒学力向上
  - ・正答率・誤答・観点別評価の数値化をもとに分析・対策が可能
  - ・解答用紙返却時における解説の質向上
- 採点精度の向上
  - ・得点の計算ミスなし
  - ・記述解答における採点ブレがなくなる
- 採点時間の削減＝生徒と向き合う時間の確保
  - ・採点終了＝集計完了＝成績処理完了

すでに試験的に豆テスト等で運用を始めています。教科にもよりますが、1・2年生の期末テスト（2/15）から本格的に運用を始めます。

問題用紙や記述式解答用紙はこれまでと同じです。ただし、解答用紙をスキャナーで読み取りますので、これを機に、筆圧を強く大きな字で書くよう心がけましょう。

なお、無料お試しは半年間のため、その後については、効果を確認してPTAと相談をさせていただきます。

## 1/19 6年生の学校訪問

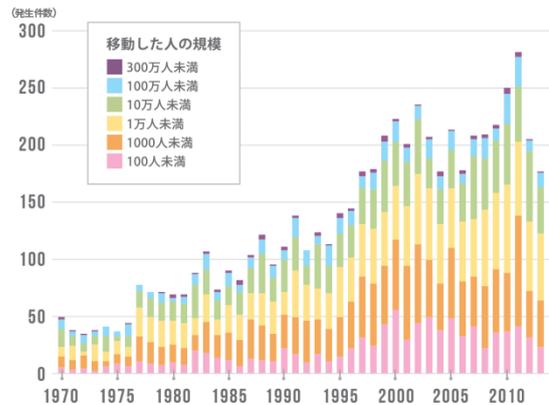
本校に入学予定の小学校6年生が来校しました。生徒会による学校紹介、校内をまわりながら授業見学、部活動見学などをしました。



6年生は、今日の体験で中学校生活への期待が高まったようです。新しい仲間との生活が今から楽しみです。



## 住み続けられるまちづくりを



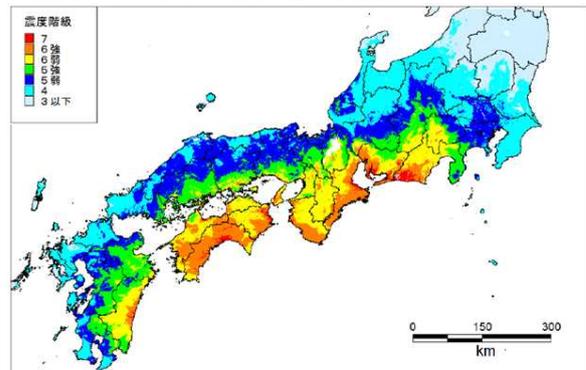
地球規模でみると過去40年にわたって、人びとが避難や移住をしなければならないような自然災害の発生件数が大きく増えています。

能登半島地震から1か月経過しましたが、今も約1.4万人が避難所で生活し、一部の中学生においては集団で避難しています。

今回の震災では、不要不急の能登への移動自粛が呼びかけられ、「行かないことが支援」という言葉が生まれました。1日でも早い日常が戻るよう祈りながら、「行かなくてもできる支援」を続けましょう。

近い将来に想定される「南海トラフ巨大地震」では、静岡県から宮崎県にかけての一部では震度7の強い揺れになり、関東から九州の太平洋沿岸の広い地域に10mを超える大津波の襲来が想定されています。

「南海トラフ巨大地震の想定震度」 ↓ 気象庁 HP より



自然災害の発生をくい止めることはできませんが、被害を小さくすることは可能です。自分でできること、家族でできること、身近な人と力を合せてできることを考えてみましょう。